

第37回横浜マリンボールカップ 女子Aゾーン決勝 8月7日(日)

相模台 WEED 34 vs 40 山内ミニバスケットボールクラブ

1Q

立ち上がりのディフェンスはオールコートでのマンツーマン、両チーム共低学年が居るなか足を使った堅い守り、攻撃面では両チーム開始1分過ぎまで落ち着かず無得点が続く

試合が動き出したのは身長を活かした白#5のゴール下での連続ポイントそれに喰らい付くように青#6のロングシュートが決まりだす

白はインサイド、青はアウトサイドでの点の取り合いが続きお互い一步も引かず白12-青14で1Q終了

2Q

2Qもディフェンスはオールコートでのマンツーマン、両チーム共低学年が居るなかよく指導された守り

1Q同様両チーム決め手が無くスコアが堅いまま開始2分過ぎに相模台タイムアウトを要求(白14-青17)

タイムアウト終了後、山内センター人の中を切り裂く白#7の果敢なドライブで得点をかさねる。

なかなか差を広げることが出来ずたまたま山内タイムアウト請求

タイムアウト終了後青#8にボールを集めだしセンタープレイでじりじり点差をひろげていく、ここでホイッスルが鳴り、白16-青25で前半を終える

3Q

3Qもオールコートでのマンツーマンディフェンス

両チーム共ベストメンバー、高学年中心になり気迫の守り

戦術は両チーム変わらず白はアウトサイド中心、青はインサイド中心でゲームがスタート、高さのある山内がOF、DFリバウンドを取り始めゴール下を確実なものにしていく、相模台は前半の様なアウトサイドのシュートが思うように決まらず、得点差がひらいていくが相模台#4を中心に懸命な粘りをみせ

3Q終了のホイッスル、白26-青32終了

4Q

4Q オフェンス、ディフェンスと形態変わらずスタート

入り早々山内ディフェンスからの連続ポイントでこの試合最大の点差がつく

相模台の懸命な守りもあるが山内高さでさらに得点を重ねる

徹底してきたディフェンスが効いてきたのか残り2分で山内のシュート力が落ちる

その隙を逃すことなく相模台の切れ味鋭いドライブが決まりだし4点差まで詰める

この時点で残り1分強、両チーム優勝という栄冠を手に入れる想いで終了ホイッスルまで

全力を出し切った戦い、試合は白34-青40で終わりましたが、試合開始から終了まで

素晴らしいゲームでした、選手の皆さんお疲れ様でした。

協力/横浜市南部ミニバスケットボール連盟技術委員会

